

## ナゴヤサナエ

*Stylurus nagoyanus*

兵庫県：Aランク

環境省：準絶滅危惧 (NT)

### 種の概要

体長62～65mm程度。腹部第7～9節が広がる大型のサナエトンボで、腹部に黄色の斑紋を有する。主に平地の大河川下流域に生息し、幼虫は流れの緩やかな岸辺の砂泥に潜っている。河口の汽水域や汽水湖にも見られる。成虫は6月～10月に見られる。



写真提供：新村捷介

### 国内分布

本州、四国、九州

### 県内分布記録

佐用町、豊岡市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○	○	○		○



### 特記事項

BランクからAランクに変更

1997年の発見以後、生息地は出石川の1箇所のみで、個体数の減少傾向が続き、一時生息が確認できなかった。2004年の洪水以来、一時的に増加し、2009年には多数が確認されている。今後どのように推移するか不明であり、絶滅が危惧される。

### 保護上の留意点